

新年度予算案など全議案を承認

三月定例町議会が二月二十八日に召集され、二十三年度予算、条例の制定・改正などの審議をいただき三月十八日に閉会しました。新年度の主な新規事業及び重点事業等を紹介いたします。

「計画投資」中長期的な視点でまちづくり!

南小学校改築事業、赤砂崎公園化事業、
高齢者・子育てふれあいセンター改修事業に着手



〈一般会計〉76億円の積極型予算に

平成23年度 こんな事業が始まります

(主な新規・拡充事業)

安心・安全の まちづくり	◇赤砂崎公園整備事業 (赤砂崎公園用地購入費等)	657,400千円
	◇南小学校改築事業 (改築工事設計委託料)	68,103千円
	◇災害対応特殊消防ポンプ自動車購入事業	2,987千円
地域活性化 まちづくり事業 の推進	◇商工業振興事業の推進 (商工業振興助成金等)	609,600千円
	◇観光振興推進事業	14,791千円
	◇ものづくり支援センター補助事業	13,080千円
	◇出会い・婚活プロジェクト推進事業	864千円
	◇街なみ環境整備事業 (道路美装化・電柱移転等)	37,250千円
地域で守り育てる 子ども支援策の推進	◇高齢者・子育てふれあいセンター改修事業	64,138千円
	◇有料ごみ袋給付事業 (誕生祝金支給対象者等に給付)	891千円
	◇中間教室管理運営事業	2,818千円
環境、福祉施策 の充実	◇障害者、高齢者に優しいまちづくり (障害者自立支援給付事業・介護保険基盤整備事業ほか)	540,531千円
	◇社会資本整備総合交付金事業 (町道湖岸通り線道路改良)	99,000千円
	◇ごみ減量推進事業 (生ごみ処理機器設置補助限度額の引き上げ)	3,660千円
	◇町民の健康管理および各種健診の充実	121,787千円
	◇公文書整理業務委託事業	17,295千円
行政改革の推進	◇行政情報コーナー用、住民相談室用備品購入事業	3,115千円

下諏訪力の創造と 個性豊かなまちづくりに向けて!

町は、今後五年間の町政の指針となる『第六次下諏訪町総合計画後期基本計画(平成二十三年度～二十七年)』及び改革の第二ステージへ向け更なる推進を図る『第四次行政改革大綱(平成二十三年度～二十七年)』を平成二十二年度に策定しました。

「個性豊かなまちづくり」を進めるために、真に必要な住民要望にできるだけ応えるため計画的に事業を行い、身の丈にあった健全財政を進めながら、町民一人ひとりに寄り添った行政をめざします。町総合計画は、平成十八年度から二十七年までの十年間の基本構想に基づき町の将来像を描くもので、後期基本計画は前期五年の計画を検証・評価の上、各施策の取組みや目標数値などを盛り込んだもので、今後五年間の具体的指針となるものです。

平成二十三年度では、後期基本計画に基づき、赤砂崎公園の事業化、南小学校改築に向けた実施設計、高齢者・子育てふれあいセンター改修、観光振興局の設置、ものづくり支援センターの設置など、多くの新たな事業がスタートいたします。



町民の温かい心を届けたい

～町が救援物資と共に職員を被災地宮城県登米市へ派遣～

町は3月17日、東北地方太平洋沖地震で被災した宮城県登米(とめ)市へ、町民の皆さんから寄せられた多くの支援物資を届けました。町民からの温かい気持ちを13トントラックいっぱい積み、町職員4人とともに現地入りしました。多くの犠牲者が発生し、ライフラインが寸断された厳しい生活の続く現地の皆さんへ下諏訪町の温かい心が届けられました。支援物資は社会福祉協議会へ届けられた物を含む毛布・紙おむつ類をはじめバスタオル・生活雑貨などが詰まった段ボール箱約650箱。現地の皆さんと心が繋がりました。

○商工会議所青年部が栄村へ、善意の炊き出しも!

下諏訪商工会議所青年部は3月24日、長野県北部地震で被災した栄村に出向き、避難所2カ所で雑煮1,000食分の炊き出し奉仕を行いました。会議所の青年部を中心に、同所や町職員ら約20人が支援物資やはしやお椀を含む炊き出し用具一式を積み込み、現地で「ポップコーン」と「御柱の恵み雑煮」を提供しました。被災した方々の体も心も温かくなりました。

皆様のご協力
ありがとうございました



4月11日現在で、27,625,991円の義援金が集まりました。ご協力ありがとうございました。